

浙江省 2017 年 10 月高等教育自学考试

高级日语(二) 试题

课程代码:00610

请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

选择题部分

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

2. 每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

問題一. 次の文の_____に入れる最も適当な言葉を A、B、C、D の中から一つ選びなさい。(2 * 10 = 20 点)

- 子供では_____、自分の部屋はちゃんと自分で片付けなさい。
A あるまいし B あれ C あろうが D なくて
- このホテルは、駅に近いという立地条件のよさ_____いつも満室だ。
A といえども B と相まって C ときたら D とはいえ
- 彼の態度は失礼_____。
A 極まって B 極まりない C 極まりだ D 極まるだ
- あいつ_____お世辞がうまいだけで、ほかに才能はない。
A としたら B とばかりに C といい D ときたら
- 主婦業_____家庭教師をやっている。
A かたわら B かたがた C がてら D のかたわら
- 君が行こうが_____、私は行かなければならない。
A 行くまいと B 行っても C 行くまいが D 行ったら
- 敵はこちらに向かっているらしい。一瞬_____油断できないよ。
A たりとも B たりも C だけ D たりとは
- 店の装飾やサービスに一流の店_____の品が感じられる。
A であれ B ならでは C らしき D ごどき
- 市民の皆さんの協力_____、ごみ問題の解決はありえません。
A どおりに B なくして C ならでは D に限らず
10. 今年は、昨年にも_____台風が多い。豊作はあまり期待できないようだ。
A ひきかえ B まして C いたって D あたって

問題二. 次の諺の解釈に最も適当だと思う諺を A、B、C、D の中から一つ選びなさい。

(2 * 5 = 10 点)

11. 忠告などをいやになるほど繰り返して言う。

A 口を酸っぱくする

B 人の口に戸は立てられぬ

C 目と鼻の先

D 口八丁手八丁

12. わずかばかりの援助や努力では効果が上がらないことのとえ。

A 身も蓋もない

B 焼け石に水

C 三日坊主

D 百聞は一見に如かず

13. 風流より実利、外観よりも実質を重んじることのとえ。

A 習うより慣れよ

B 出る杭は打たれる

C 三人寄れば文殊の知恵

D 花より団子

14. 人が元気をなくしてしょげることのとえ。

A 足を洗う

B 江戸っ子は宵越しの金は持たない

C 青菜に塩

D 親も親なら子も子

15. よどみなくすらすらと話すことのとえ。

A 知らぬが仏

B 立て板に水

C 高嶺の花

D 泣き面に蜂

問題三. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(2 * 10 = 20 点)

騒音のうるさい電車などの中でも会話ができる。うるさいとは思うけれども、相手の言うことはなんとか聞き取っている。聞き取れない部分は見当をつける。しかし、テープレコーダでそれを録音してみると、会話はほとんど聞き取れないことに驚くのである。この差は人間の耳と機械の耳の相違による。人間の耳は自分の浴する音声も騒音を選び出し、それを増幅してキャッチし、欠損部は補充する。それに対して機械は音声も騒音も分け隔てしないで公平に記録してしまう。これによっても、人間の耳はあるがままのものを聞くのではなく、必要と感ずるものだけを聞く期間であることがはっきりする。必要がないと思えば馬耳東風、聞けども聞こえずになる。

何日も病気の子供の看病をしている母親があるとす。看護の疲れでまどろみがちになるだろう。うとうとしている時、台所で物の落ちる音がしても、彼女は[A]反応を示さず居眠りを続ける。[B]そのあと、病児がかすかな声を出すと、母親は[C]眼を開く。この母親には、台所の物事などはどうでもよいが、病児のちょっとした変化でも重要な意味をもっていて、居眠りをしながらも子供には注意が向けられているのである。

このように、人間の認識は外界の刺激のあるがままに忠実に反応して得られるものではない。我々が理解したと思っているのは、対象のコピーではなく、あらかじめもっている感心によって選択された情報によって作られたものである。忠実な録音テープと比較すれば、人間の理解は変形された状況認識、すなわち一種の誤解であることがはっきりするはずである。

16. 次の A ~ D から一番いいものを一つ選んで、文中の [A] に入れなさい。

A まるで

B ちょうど

C あたかも

D どうせ

17. 次の A ~ D から一番いいものを一つ選んで、文中の [B] に入れなさい。

A だから

B つまり

C ところが

D したがって

18. 次のA～Dから一番いいものを一つ選んで、文中の[C]に入れなさい。
A やいなや B なり C たまに D とたんに
19. 文中の「それ」は何を指しますか。次のA～Dから一番いいものを一つ選びなさい。
A 電車の中の騒音 B 聞き取れない部分
C 自分の言うこと D 電車の中の会話
20. 文中の「あるがまま」はここではどういう意味か。次のA～Dから一番いいものを一つ選びなさい。
A 存在するとおり B 浴するとおり C 形のとおり D 感じたとおりに
21. 文中の「うとうと」はここではどういう意味か。次のA～Dから一番いいものを一つ選びなさい。
A 浅く眠る様子 B 深く眠る様子 C 眠れない様子 D 気分が悪い様子
22. 文中の「かすかな声」はここではどういう意味か。次のA～Dから一番いいものを一つ選びなさい。
A 大きな声 B 泣き声 C 遠くの声 D 小さな声
23. 文中の「重要な意味」とはここで何について言っているのか。次のA～Dから一番いいものを一つ選びなさい。
A 台所の物音 B 看護 C 子供の病状 D 居眠り
24. 文中の「あらかじめ」はここではどういう意味か。次のA～Dから一番いいものを一つ選びなさい。
A 新しく B 前から C 生まれたつき D 用意しておいた
25. この文章の内容と合わないものを次のA～Dから一つ選びなさい。
A 騒音の中でも会話できるのは、人間の耳のほうが正確だからだ。
B 人間の理解は、興味や関心によって外界の刺激に反応する。
C テープレコーダーは、あるがままのものを公平に録音してしまう。
D 母親は病児の声に敏感に反応する。

非选择题部分

注意事項:

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

問題四. 下線部の言葉の読み方を平仮名で書きなさい。(1 * 10 = 10点)

26. 劣悪不快な川の光景となる。

①

27. ゆるやかな勾配の坂を登ることになる。

②

28. 「日本なんてたいしたことないしー」という気分が世界に横溢した。

③

29. だから古代律令制の下では、罪人の処刑も晩秋におこなわれている。

④

⑤ ⑥

30. 巢の出入りに忙しくそのわきをはい回るがまったく拘泥する様子はなかった。

⑦

31. そういう時に旅行案内記のたぐいをあけてみると、あるいは海浜、あるいは山あいの

⑧

湖水。

32. 湯に入ったり見物したり享樂したりすると同じようなことになる。

⑨

33. 年の瀬で雑踏する東京の街を歩いている。

⑩

問題五. 下線部の言葉の漢字を書きなさい。(1 * 10 = 10点)

34. 僕はもうかんねんして、しばらくじっと目を合わせていた。

①

35. 全裸の皮膚がぼくじゅうを浴びたように煤けて、乾いた血がぜんしんをくまどってい

②

③

た。

36. 「7年に1回しかごかいちょうしない仏像」を求めるようになってくる。

④

37. 自由への逃走を挫折させられたヤドカリは、ひどくらくたんしてしまったようであっ

⑤

た。

38. はちの死骸が流され、自分のがんかいから消えて間もないときだった。

⑥

39. そこから受ける暗示は読む人の自発的な活動をゆうはつするある不思議なまりよくを

⑦

⑧

持っている。

40. 決しててをぬいてなどいない。

⑨ ⑩

問題六. 括弧の中の言葉を使って、次の文を日本語に訳しなさい。(3 * 5 = 15点)

41. 只要努力拼搏，前途必定豁然开朗。(性根を据える)

42. 无论是餐厅，还是宾馆，游客都会在搜索结果引导下，前往你处。(～といわず～といわず)

43. 海面上随波荡漾的月亮的倒影，仿佛是我恋情的真实写照。(～かのような)

44. 但是巨人队内部出现对原教练的做法反感的人，这是事实。(気をさす)

45. 贫穷还是富裕，同样不能用钱和物的多少来决定的吧。(富める)

問題七. 次の文を中国語に訳しなさい。(3 * 5 = 15点)

46. 夕暮れの迫った前庭に立つてみると、さっきまで人々がひしめいていた部屋部屋は、空洞のようにガランとして、異臭だけ残っていた。

47. 京都の観光客は老若男女を問わないわけですが、この空前の京都人気は日本の不景気と関係しているのではないかと、私は思う。

48. ねずみが殺されまいと、死ぬに決まった運命を担いながら、全力を尽くして逃げ回っている様子が妙に頭についた。
49. まがりなりにでも自分の目で見て自分の足で踏んで、その見る景色、踏む大地と自分が直接にぴったり触れ合う時にのみ感じ得られる鋭い感覚を味わなければ何にもならないという人がいる。
50. その真っ白い花からは、今し方の雪が解けながら、その花のしずくのようにぽたぽたと落ちているにちがいがなかった。